

【木更津市長杯小中学生将棋大会競技方法】

個人戦、団体戦を行います。

個人戦を先に行い、個人戦終了後に団体戦を行います。※大会スケジュールを参照。

個人戦、団体戦ともに対局開始時間までに、対局席に着席できない場合は、不戦敗とします。

個人戦は予選をリーグ戦、決勝はトーナメント（勝ち抜け）方式で行います。

団体戦はトーナメント方式で行います。

閉会式で個人戦、団体戦の表彰を行います。

①個人戦

対局は、A：小学生3年生以下、B：小学生4～6年生、C：中学生クラスに分かれて行います。

定員は、それぞれ32名とします。※中学生は27名

予選4人でリーグ戦を3回戦行い、決勝トーナメントは8人で3回戦行います。

表彰は1位～3位までとします。

②団体戦

チームは大将、副将、三将の3人一組とし、あらかじめ決めておく。※途中変更は認めません。

小学生の部6チーム18名、中学生の部8チーム24名とします。

個人戦終了後に団体戦を行うので、個人戦と団体戦両方にエントリーできます。

参加チームが少ないときは、シード方式を取り入れます。

最低参加チームは4チームで、4チームのときは2回戦までとします。

3回戦目は優勝決定戦と3位決定戦を行い、表彰は1位～3位までとします。

団体戦は勝者の多いチームを勝ちとします。

大将、副将、三将の3人全員の対局が終わるまで、席を離れないこととし、席を離れたり助言をしたときは失格とします。

【大会ルール】

①対局は持ち時間10分の切れ負け戦とする。

②先手・後手の決め方はふり駒で決定する。

※どちらかが「歩」を5枚ふり、「歩」がたくさん出たらふった者の先手。「と金」がたくさん出たら相手の先手となる。

③対局には対局時計を用い、その位置は後手が決めることができる。時計は指した手で押さなければならない。逆の手で押した場合は審判の判定を受けることとする。

④待ったはなし。手をはなしたら差し手を変えることはできない。助言はなし。その場合は退場してもらうこともある。

⑤「二歩」やそのほかの反則があったときは負けとする。ただし、投了後に気づいたときは、勝負通りとする。

⑥千日手は連続王手以外、先手・後手を交代し指しなおす。

※同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判員に申しでること。

残り時間が少ない方が5分未満だった場合は先後を交代し、少ない方が5分になるよう両者に同じ時間をたす。

残り時間が少ない方が5分以上だった場合は先後を交代し、残り時間はそのまま指す。

⑦持ち将棋は、持ち点で相手より1点でも多い者が勝ちとなる。

※大駒5点、小駒1点で27点ずつになったときは、先手・後手を交代し指しなおす。

⑧その他問題がおこったときは、その場で手をあげて審判員の指示に従うこと。

⑨本大会は審判員の判定を最優先とする。

【注意事項】

- ホール内にスケジュール表や競技ルールを掲示してありますので、必ず確認してください。
- 対局の前には、手をアルコール消毒してください。※アレルギーや、手が荒れるなどの理由でアルコール消毒できない場合は、近くの係員に申しでてください。
- 対局中は、必ずフェイスシールドと、マスクを着けてください。ただし、休憩時間や、トイレなどはフェイスシールドをはずして、マスクのみ、着けてください。
- 途中で、気分が悪くなりましたら、近くの係員に申しでてください。
- ホール内での水分補給は大丈夫ですが、食事はできませんので、ご協力ください。
- 対局の開始時間までに、対局席に着席してください。
着席できない場合は、やむを得ない場合をのぞき、不戦敗とします。
- 対局中、反則など問題がおこったときは、その場で手をあげてください。
- 個人戦の予選では、対局が終わりましたら、勝った人が対戦表に記入してください。記入の仕方がわからない時は、手をあげて係員を呼んでください。
- 同じ組の対局が終わっていないときは、同じ組の対局が終わるまで、席に座って待っていてください。
- ほかの対局中への声かけは、禁止します。声かけしたときは、失格とします。
- このほか、わからないことがありましたら、遠慮なく近くの係員に申しでてください。